

一往直前

志・職業について考える

先日、志タイムで、TED×Talkの荒川祐二さんの「一歩前に踏み出す勇気」という映像を視聴しました。小説家、講演家、飲食店の社長など、様々な肩書を持っている荒川さん。そんな荒川さんですが、昔は何も持たないごく普通の大学生でした。大阪の中学、高校を卒業し、上智大学に入学。その後、大学時代に「自分を変えたい!」という思いで、毎朝6時から日本一汚い場所新宿駅東口の掃除をたった1人で始めたそうです。『背



中に一緒に掃除してくれる人募集!』と書かれた看板を背負って始まった活動は、周りの人の心を動かし、ホームレスから始まり、1人、また1人と仲間が増え続けました。半年後の2007年5月3日(護美の日)には、全国で一斉にゴミ拾いを開催。全国27か所、総勢444人の人を集める。その活動は現在も継続され、2009年5月3日には全国200か所、全世界26カ国、総勢15,534人、2010年5月3日には、全世界30カ国以上、総勢10万3,036人、2013年5月3日には環境省と官民一体で行うプロジェクト『GOMIファンタジスタプロジェクト』として全世界300箇所以上、15万3,894人という全世界ムーブメントに広がっていきました。

さて、この話の中で、「その道の始まりは今この瞬間」というフレーズが印象的です。荒川さんの場合は、ゴミ拾いを始めた瞬間が道の始まりであり、何事においても今この瞬間が大事ということが伝わってきました。つまり、「出来る、出来ない」ではなく「やるか、やらないか」ということです。自分が好きになれなかった荒川さんが、初めて自分を好きになれた瞬間でもありました。一歩踏み出す勇気がもらえます。小さな一歩を踏み出すことの重要性を教えてください、そして一歩踏み出す勇気を与えてくれますね。自分の志に向かって、今何をすべきか……。その一歩を踏み出しましょう。

生活のヒント

「好きを仕事に」は間違い? 研究でわかった「天職」の見つけ方

将来の職業に関して、こんな資料がありましたので紹介します。

～ 2015年、ミシガン州立大学が「好きなことを仕事にする者は本当に幸せか?」というテーマで大規模な調査を行いました。数百を超える職業から聞き取り調査を行い、仕事の考え方が個人の幸福にどう影響するかを調べたのです。研究チームは、被験者の「仕事観」を2パターンに分類しました。

- ◎ 適合派: 「好きなことを仕事にするのが幸せだ」と考えるタイプ。「給料が安くても満足できる仕事をしたい」と答える傾向が強い
- ◎ 成長派: 「仕事は続けるうちに好きになるものだ」と考えるタイプ。「そんなに仕事は楽しくなくてもいいけど給料は欲しい」と答える傾向が強い

一見、適合派のほうが幸せになれるように見えます。自分が情熱を持てる仕事に就ければ毎日が楽しく、金目当てに働くよりも人生の満足度は高まりそうな気がするでしょう。ところが、結果は意外なものでした。適合派の幸福度が高いのは最初だけで、1～5年の長いスパンで見た場合、両者の幸福度・年収・キャリアなどのレベルは成長派のほうが高かったからです。

研究チームは、「適合派は自分が情熱を持てる職を探すのがうまいが、実際にはどんな仕事も好きになれない面がある」と言います。いかに好きな仕事だろうが、現実には、経費の精算や対人トラブルといった大量の面倒が起きるのは当然の



ことです。ここで「好きな仕事」を求める気持ちが強いと、そのぶんだけ現実の仕事に対するギャップを感じやすくなり、適合派のなかには「いまの仕事を本当に好きなのだろうか？」といった疑念が生まれます。その結果、最終的な幸福度が下がるわけです。

一方で成長派は、仕事への思い入れがないぶんだけトラブルに強い傾向があります。もともと仕事に大した期待を持たないため、小さなトラブルが起きても「仕事とはこんなものだ」と思うことができるからです。

「好きを仕事に」と並んでよく聞けるのが、「情熱を持てる仕事を探しなさい」というアドバイスでしょう。誰のなかにも仕事への熱い思いが眠っており、あとはその情熱に火を点けてくれる職、つまり天職を探すだけだ、というわけです。しかし、これまたデータとは相いれません。というのも天職とは、どこか別のところにあるものではなく、自分のなかで養っていくものだからです。

くわしく説明しましょう。2014年にロイファナ大学が多数の起業家にアンケートを行い、それぞれが「いまの仕事をどれだけ天職だととらえているか？」を尋ね、「仕事に投入している努力の量」や、「毎日どれだけワクワクしながら働いているか？」といったポイントをチェックしました。その結果わかったのは、次のような事実です。

◎ いまの仕事に対する情熱の量は、前の週に注いだ努力の量に比例していた

◎ 過去に注いできた努力の量が多くなるほど、現時点での情熱の量も増加した

被験者のなかで、最初から自分の仕事を天職だと考えていた人はほぼいませんでした。最初のうちはなんとなく仕事を始めたのに、それに努力を注ぎ込むうちに情熱が高まり、天職に変わった人がほとんどだったのです。

このような現象は、仕事以外の場面でもおなじみでしょう。もしあなたが高価なフィギュアをコレクションしていたら、お金を使ったぶんだけ愛着が増し、何があっても手放せない気分になるはず。その他にも、大金をつぎ込んだパチンコ台ほど離れにくくなったり、楽器を練習するほど音楽が楽しくなったりと、似たような例はいくらでもあります。要するに「情熱を持てる仕事」とは、この世のどこかであなたを待っている献身的な存在ではありません。その仕事に情熱を持てるかどうかは、あなたが人生で注いだリソースの量に比例するのです。

ジョージタウン大学のカル・ニューポートは、自分の仕事を「天職」だと考えている人たちにインタビューを行った結果、こんな結論にたどり着いています。「天職に就くことができた人の大半は、事前に『人生の目的』を決めていなかった。彼らが天職を得たのは、ほとんどが偶然の産物だったのだ」仕事の種類や内容はあなたの適職探しに影響を与えません。逆に言えばどのような仕事だろうが、あなたにとっての適職になり得るわけです。鈴木祐 『科学的な適職』より～
結論⇒ 情熱は、努力の量に比例する 天職は「見つける」のではなく「養う」

連絡事項

・2学期中間テストのお知らせ

2学期の中間テストが9月25日（金）に行われます。今週11日がテスト2週間前となります。昨日、学活の時間にテスト計画表とテスト範囲が配られました。夏休みの取組が試されるテストとなりますので、1学期期末テストでの反省を思い出して、中学生としてのテスト勉強はどうすればいいのか、自分なりの方法を見つけ出してほしいと思います。



・新型コロナウイルス感染防止対策について

8月6日付の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～学校の新しい生活様式～（文科省）」が改訂され、これを受けて本校の1学期にお示ししていた衛生管理の方法が一部変更になります。今後は部活のない月・水の帰りの会終了後に、当番活動として教室にある消毒液を使って、教室の扉の取っ手付近、ロッカー、スイッチ等を重点的に消毒することになります。

また、清掃時にはこれまで以上に床を雑巾でしっかり拭くことを心掛けてください。心配な生徒は個々で除菌用シートを持参し使用してよいですが、使用済みのシート等は各自持ち帰ってください。

これまで通り、基本は手洗いをきちんと行うこと、常時マスクを着用すること、三密は避けることは変わっていません。ただ、熱中症予防として気温・湿度や暑さ指数が高い時はマスクを外すことも大事です。この場合は、人と十分な距離を確保すること、会話を控えることを徹底しましょう。現在、静岡県は「感染拡大注意都道府県（レベル4 ※6段階レベル警戒レベル）」相当ですので、引き続き注意が必要です。

